警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県鶴見警察署協議会
日　　時	令和８年10月６日（火）午後１時59分から午後３時50分までの間
場　　所	神奈川県鶴見警察署講堂
出席者	１　協議会委員（11人） 会　長　小林　政仁　　副会長　門倉　卓雄 委　員　伊藤　文雄　　今井　朋子　　浦木　隆弘　　金子　剛士　　菊地　身知子 高橋　正海　　永井　恒雄　　本田　文男　　前田　裕子 ２　警察署側（10人） 署　長　佐々木　功　　生活安全課長　長島　大朗 副署長　仮屋　昭彦　　刑事第一課長　諏訪　修司 刑事生安担当次長　森　有司　　刑事第二課長　根本　英実 地域担当次長　人見　恭介　　交通課長　加納　瑞人 警務課長　四ツ目　正人　　警備課長　出井　晃
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明 「振り込め詐欺抑止対策」について １　答申 (1) 中高生は先輩などの誘いで特殊詐欺に係るきっかけが多いのでこの年齢層に対する啓もう活動を学校などで行われているサイバー教室を利用して行う。 (2) 警察を名乗る電話は折り返すなど、警察を見分ける方法を啓もうする。 (3) 市や区の広報誌に詐欺バスターＬｉｔｅ、迷惑電話防止機能付き電話の無料貸出し、相談先（＃９１１０若しくは鶴見警察に相談を）のチラシを同封してもらう。 ２　措置結果 (1)について 中学生、高校生中高生のみならず、小学生に対してもサイバー教室において、特殊詐欺に対する教室を実施。 当署の生活安全課員、補導員、スクールサポーターが、学校16校延べ約6,300人に対し、特殊詐欺の啓蒙活動を実施した。 (2)について 防犯講話において、直接最近の手口等について最新の情報をこの講話の中で伝えている。 窓口やＡＴＭにおいて声掛けを行う、行員に対しても、最近の手口、通報することの重要性について説明を行い、全件通報制度により、高額な振り込みや出金をする客に対するに声掛けを実施を依頼し、当署と連携して運用している。 鶴見区役所と協力し、広報誌への特殊詐欺防止アプリや迷惑電話防止機能付き電話についての記事を掲載。 (3)について 鶴見区役所と協力し、広報誌の右側のスペースを利用して詐欺バスターＬｉｔｅの二次元コードを掲載。 タウンニュースとも協力し、特別号の中で、当署長からの詐欺防止に係るコメント及び迷

	惑機能付き電話を鶴見区役所と鶴見警察署で貸し出しているとの記事を掲載。
	諮問
	「地域住民の安心感を高める警察活動」について
	答申
	1　交番に常に人に居てもらいたい。（ＯＢ、ＯＧの活用） 2　警察官によるパトロールの強化。パトカー、白バイの赤色灯の点灯。 3　警察官を増やして欲しい。警察官採用のＰＲ活動。 4　行政の補助を活用し、各地域に防犯カメラを設置できるということを呼びかけて欲しい。
	業務説明
	前期（令和８年５月から８月まで）の業務推進結果及び今期（令和８年９月から12月まで）の業務推進重点について説明を行った。
備　考	視察
	振り込め詐欺防止寸劇について
	視察後の協議会からの意見
	・劇中での署員との掛け合いが面白かった。 ・歌やお笑いで防犯意識を身に付けることができ、とても良いと思った。